2026 年 9 月 17 日作成　Ver1.0.1

≪情報公開文書≫

神経膠芽腫における免疫チェックポイント分子の病理学的検討、
および既存大規模発現解析データの再解析による探索的研究

研究の概要

【背景】神経膠芽腫は比較的頻度の高い悪性脳腫瘍で、標準治療を行ってもまだまだ予後不良の疾患であり、引き続き研究が必要とされています。今後、膠芽腫に対しても免疫療法が発展する可能性があり、基礎研究の集積が必要です。

【目的】膠芽腫で高発現する B7-H3 という免疫チェックポイント分子に対する病理組織学的検討と、既存のビッグデータを用いたシグナル伝達系の重要分子を探索することが目的です。

【意義】今後の研究、治療法の進展で、B7-H3 が治療標的となった場合の基礎的研究資料を提供することができます。病理組織学的な新たな知見や、新たな標的分子が検出される可能性があります。長期的な観点から、脳腫瘍患者さんの治療成績の向上に資する可能性がございます。

【方法】長崎大学病院脳神経外科で、神経膠芽腫と診断された患者さんを対象として、病理組織を B7-H3 の免疫染色で検討します。残存検体あるいは保存してある凍結検体から DNA を抽出し、IDH1/2 の点突然変異、の検討を追加させていただくことがあります。診療録情報から情報収集をおこないます。

当院の患者さんから得られた研究結果が、過去の大規模研究の結果とどの程度共通点があるかを検証するため、The Cancer Genome Atlas というアメリカの無償で一般公開されている膠芽腫患者さん 152 人から得られた、過去のビッグデータを用います。このデータを再解析して、当院の患者さんから得られた結果の再現性の検証を行います。

対象となる患者さん

2016 年 1 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日に、当院で神経膠芽腫と診断を受けられた方。

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

・患者さんの背景：性別、生年月日、入院・外来の別、合併症、既往歴、現病歴。治療経過。
・併用薬／併用療法。
・自覚症状
・他覚所見
・バイタルサインの記載、全身状態の記載。神経所見。
・血液学的検査。血液生化学検査。尿検査。
・頭部造影 MRI、頭部 CT の所見。
・認知機能検査。
・放射線治療の詳細情報。
・脳腫瘍の遺伝子変異（DNA を用いた IDH 変異解析）。再発難治症例に対し、通常診療（保険診療）で Foundation One®などの網羅的遺伝子診断を追加している場合、その結果を既存情報として参照します。
・免疫染色：臨床現場でおこなわれている IDH1 R132H に対する免疫染色。

追加で、脳腫瘍の DNA を用いて、IDH 変異解析を行うことがありますが、患者さんのご家族に遺伝する情報は対象としません。遺伝カウンセリング体制などは必要ございません。

The Cancer Genome Atlas のビッグデータ/公開情報をダウンロードして再解析します。患者さんやご家族に新たなご負担をお願いものではございません。

●研究に用いる試料

・残余病理組織検体、およびそこから抽出した DNA

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

お問い合わせ先

長崎県　長崎市　坂本 1−7−1
長崎大学病院　脳神経外科（医局）
電話番号：095-819-7375

試料・情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 10 月 9 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。
あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日

研究実施体制【単機関】※実施体制に合わせて適宜必要な情報を記載してください

研究責任者　氏福健太

試料・情報の管理責任者　吉田光一

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）
苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200
受付時間　　：月～金　8：30～17：00（祝・祭日を除く）